

「日本語教育に生かす第二言語習得研究 —学習者にとって何が難しいのか—」

NINJALチュートリアルとは・・・

日本語学・言語学・日本語教育研究の諸分野における最新の研究成果や研究方法を若手研究者等に教授するプログラムです。

講座概要

第二言語習得研究では、「なぜ誤用が出るのか」「母語は影響するのか」など、学習者の目標とする言語の習得に関わるさまざまな要因を取りあげて研究する。本講義では、学習者の実際のデータや最新の研究情報に基づき、日本語習得の基礎的研究から現場に役立つ教育研究の方法を学ぶ。

◆平成24年10月28日(日)

- (1)「教師と学習者と研究者のための誤用分析」90分(10:00～11:30)
- (2)「発話コーパスで見る学習者の日本語習得」90分(11:40～13:10)
- (3)「日本語の文法習得—「わかる」と「できる」の違い—」
90分(14:00～15:30)
- (4)「日本語の習得研究から教育研究へ」90分(15:40～17:10)

講師

迫田久美子

国立国語研究所 教授(日本語教育研究・情報センター長)

専門は、第二言語としての日本語習得研究・日本語教育方法学。主な著書に『中間言語研究—日本語学習者における指示詞コ・ソ・アの習得—』(1998年溪水社)、『日本語学習者の文法習得』(共著 2001年 大修館)、『日本語教育に生かす第二言語習得研究』(2002年アルク)など。



会場

南山大学 B棟 4階47番教室

愛知県名古屋市昭和区山里町18

地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口より徒歩約10分

定員

30名(予定)

受講料

無料

受講対象

このプログラムは大学院レベルを対象としています。
・大学院生(修士課程または博士課程に在籍する方)
・修士課程または博士課程を修了後、原則として6年未満の方
・当該諸分野を専門とした職務に従事している方
・大学院を目指す学部学生 など
注)応募者が定員を超えた場合は、大学院生の方を優先とします。

修了証

条件を満たした方に、修了証を発行します。

参加申込

国語研究所HPからお申込み下さい。

<http://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/tutorial/>

平成24年10月18日(木)締切。

受講者には10月22日(月)までに連絡いたします。